大阪大学 THE UNIVERSITY OF OSAKA　東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

Press Release

取り組み

2026 年 10 月 2 日

＼インフラマネジメントを、さらにスマートに／

大阪大学工学研究科・東北大学工学研究科 両インフラ研究拠点間で連携協定を締結

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターと東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターは、9 月 11 日(金)にインフラマネジメント研究に関する連携協定を締結しました。

両者はこれまで、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第 3 期」の課題「スマートインフラマネジメントシステムの構築」を通じて連携してきました。今回の協定は、これまで培ってきた連携関係を基盤として、インフラマネジメント分野に関する教育・研究の高度化および社会実装の推進を目的とするものです。

(写真左より)＜大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センター＞笹井　晃太郎特任助教(常勤)、貝戸　清之センター長、＜東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター＞久田　真センター長、 楠葉　貞治特任教授、＜同大学院工学研究科＞水谷　大二郎准教授

❖ 協定締結の背景

大阪大学大学院工学研究科サステイナブル・インフラ研究センターでは、インフラ群の老朽化が進む中、インフラマネジメント手法を用いた国土、都市・地域社会の再生と発展に向け、研究や社会実装に取り組んでいます。

一方、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センターでは、インフラの維持管理を担う地方自治体への支援、人材育成、調査・研究を活動の軸として、東北地方をはじめとする全国のインフラに関する点検・維持管理情報を集約する技術拠点の形成や、開発された技術の社会実装等を進めています。

こうした両センターの取り組みを生かし、これまでの連携をさらに発展させるため、今回の協定締結に至りました。

❖ **今後の展開**

今回の連携協定により、東北大学が有する、地方自治体のニーズと研究者・事業者の技術シーズを結び付け、継続的な伴走支援を行うプラットフォーム機能と、大阪大学が有する、地域インフラ群を対象とした EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案)やインフラマネジメント手法の研究・社会実装に関する知見を融合し、地域の実情に応じた持続可能なインフラマネジメント手法の構築と、その展開を目指します。

調印の様子

❖ **本件に関する問い合わせ先**

(連携協定での取り組み、研究内容に関すること)

大阪大学 大学院工学研究科
サステイナブル・インフラ研究センター 事務局
TEL: 06-6879-4325
E-mail: contact@sirc.eng.osaka-u.ac.jp

東北大学大学院工学研究科 インフラ・マネジメント研究センター
TEL:022-721-5503
E-mail: inquiry-imc@grp.tohoku.ac.jp

(報道に関すること)

大阪大学 工学研究科総務課 評価・広報係
取材申込フォーム:https://forms.office.com/r/7dq9mBvSWb
TEL:06-6879-7231 FAX:06-6879-7210
E-mail:kou-soumu-hyoukakouhou@office.osaka-u.ac.jp

東北大学大学院工学研究科 情報広報室
TEL:022-795-5898
E-mail:eng-pr@grp.tohoku.ac.jp